

1面 晩春から初夏へ 季節の変わり目を堪能する
六義園のサツキとアジサイ
ASAHI BOOK PRESENT
今どきの子育て&教育 ~韓流ブームの今

2面 特別寄稿 朝日新聞記者の目
お金とお国柄
朝日新聞社 牧野 愛博

5年ぶりに日本で生活を始めて感じるのは、当たり前だが、日本人の細やかな気配りやサービスだ。スーパーやコンビニでは、接客に笑顔が絶えないし、買いたい品物の場所を尋ねれば、親切に連れて行ってくれる。テキパキと物事を進めるのが苦手な私には大変有り難い。

毎日が、散歩の途中
ただいま練習中
文と絵/岡本 杏子

町ネタ東西南北
3面-4面 shoppin navi.
るり整体院/中里健進はり灸整骨院/ワタナベフォトスタジオ/ドリームミュージック(旧田村音楽教室)/居酒屋 たぬぎ/自家焙煎カフェ クロスファイブ/すり鉢茶 さくらびより/オステリア セルヴァージュナ/干物まる 鶯鳴地蔵通り店/駒込デンタルオフィス/パーバショップ クラウド/アートスタジオ・セト

次号『北の手かわら版』文月号は、6月24日(日)の発行予定です。

晩春から初夏へ 季節の変わり目を堪能する 六義園のサツキとアジサイ



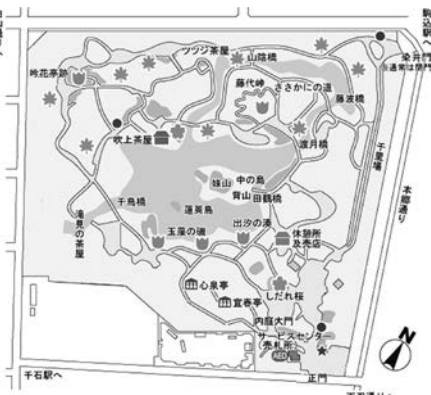
訪れた5月中旬、六ツツジ茶屋から見下ろす眺め。ツツジと入れ替わるように、サツジの勢いが盛んだ。

「つつじまつり」も終わり、落ち着いた園内は、サツキへと移りゆく季節の変わり目の景観。四季折々を楽しませてくれる六義園の初夏のイベントは、「初夏の六ツツジ茶屋」も終わ

JR・東京メトロ駒込駅よりすぐの六義園。5月31日(木)までの平日と、6月1日(金)・24日(日)までの終日、正門が閉鎖されているため、普段は閉鎖されている染井門が出入り口となる。駒込駅から徒歩2分のため、アクセスには便

園内の園内は晩春から初夏へと移りゆく風情が、このほかに心地よい。

「つつじまつり」も終わり、落ち着いた園内は、サツキへと移りゆく季節の変わり目の景観。四季折々を楽しませてくれる六義園の初夏のイベントは、「初夏の六ツツジ茶屋」も終わ



公園へ行く (公益財団法人 東京都公園協会) <http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/map031.html>より



取材時点で、まだアジサイの開花は見られなかったものの、6月中旬にかけての心泉亭周辺では、見事なアジサイが見られる。

先着順) 取材時点で、まだアジサイの開花は見られなかったものの、6月中旬にかけての心泉亭周辺では、見事なアジサイが見られる。

多種で知られるツツジだが、また園芸種としての「挿し木」の容易さでもなじみ深い。駒込ならではといえる園芸入門として、興味のある方は「つつじの挿し木教室」も見逃さない。6月16日(土)の10時

園内の園内は晩春から初夏へと移りゆく風情が、このほかに心地よい。

「つつじまつり」も終わり、落ち着いた園内は、サツキへと移りゆく季節の変わり目の景観。四季折々を楽しませてくれる六義園の初夏のイベントは、「初夏の六ツツジ茶屋」も終わ

樹齢数百ケキの大木。都心で威風堂々たる樹勢を見られるのも六義園の醍醐味

より12時までの開催となる。(事前申込制)

今どきの 子育て&教育

韓流ブームの今

韓流ドラマやK-POP、新大久保にハマっている方、いませんか? 私もたまに東京・新大久保のコリアンタウンに行くのですが、行くたびに各層と街の様変わりに驚くばかり。3月26日号の「AERA」でも、カタツムリのコスメ、マッコリなどのブームを取り上げていましたが、いまや韓流はエンタメから食品・飲料、化粧品、家電、書籍にまで及んでいます。

弊社で出している「科学漫画サイババルシリーズ」もその一つかもしれません。同シリーズは、主人公の少年たちが恐竜世界や昆虫世界、無人島などに迷い込み、持っている科学知識を駆使して脱出を図るという物語。版元はソウルの教科書会社で、世界中で2千万部以上が売れ、日本では2008年から翻訳出版されています。

◆今月の一冊◆
自然史ミュージアムのサバイバル1
ゴムドリ co. 著/韓 賢東 絵
朝日新聞出版 定価1,260円

今話題の新刊を 抽選で合計20名様に プレゼント!

ASAHI BOOK PRESENT

まんがで学ぶ成功企業の仕事術 ソフトバンク①②③
バラエティ・アートワークス著 定価各672円

日本の企業を漫画で紹介する新シリーズ! ソフトバンクの創業者・孫正義氏が、売上高3兆円の巨大企業をつくりあげるまでの姿を描く。全3巻をセットでプレゼント。

【応募方法】〒住所、氏名、年齢、電話番号、書名1点を明記の上、はがきでT104-8011(所番地不要)朝日新聞出版販売部直伝課「ミニコミ」係へご応募ください。6月30日(土)消印有効、7月上旬発送。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※お送りいただいたはがきで皆さまから提供された個人情報、厳重な管理の下、朝日新聞出版の商品紹介に利用させていただきます。

南三陸日記 三浦英之著 定価1,575円

朝日新聞朝刊の人気連載コラム「南三陸日記」を単行本化。震災後に宮城県南三陸町に赴任した記者が、被災地に住んで感じた日常の変化や、人々の心の揺れなどを細やかに描く。胸を打つ写真も掲載。

南三陸日記 三浦英之著 定価1,575円

住んで泣いて記録した
朝日新聞の好評連載 南三陸日記を単行本化
10名様